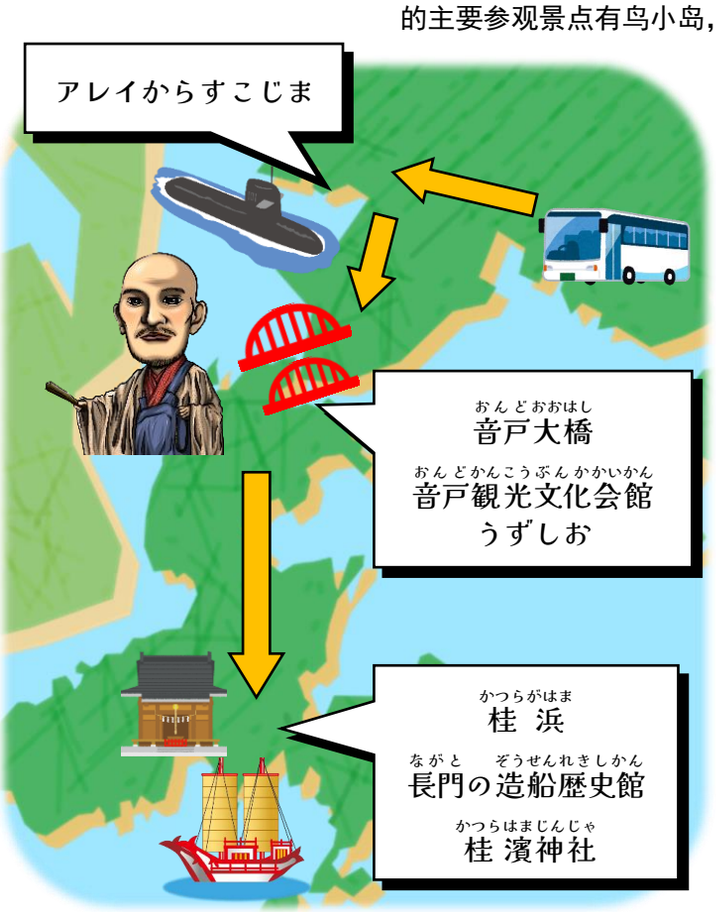
呉の歴史を学ぶバス旅行

アレイからすこじま～音戸～倉橋

写真：李 航程さん・宋 雯さん

文章：
李 航程さん・宋 雯さん

我在吴市住了两年，起初并没认为吴市是个有名的城市。但是，检索以后发现，从全国来看，吴市造船历史的知名度好像相当高了。「学习吴市的历史巴士之旅行」因为新冠病毒感染的影响，被多次被延期，但是，当天，还是如期举行了。巴士旅行的主要参观景点有鸟小岛，音户之濑户，仓桥。



私が呉に住んでいた2年間，呉が有名な町とは思っていませんでした。でも調べてみると，造船の歴史では全国知名度が相当高いようです。「呉の歴史を学ぶバス旅行」はコロナ禍で何回も延期されましたが，この日，ようやく予定通りに行うことができました。バス旅行の主な見学スポットはアレイからすこじま，音戸の瀬戸，倉橋です。

文章：張 綺さん・胡 倩さん・季 巍巍さん

我们在吴市生活最短也有 10 年了，但是对「ALLEY 鸟小岛」是自卫队的潜水艇停泊的港口却一无所知。经过导游的讲解，我很开心的学到很多相关的历史知识。印象很深的有两件事情。第一个是，沿着步道的公园的名称来源。很久以前，这里有一个叫做「鸟小岛」的岛。大约 100 年前，为了建造军队的设施，小岛被填埋消失了，但是现在，与英文中小径的「ALLEY」合在一起成为公园的名字。吴市变成军港之城，战后因生产船以及机械的部品而发展，对此我感到非常的震惊。第二个是关于停泊的自卫队舰艇。除潜水艇以外，导游还为我们介绍了，战斗的护卫舰，以及其他的补给物资和燃料的补给舰，探测海中音波的音声测定舰等，以后也许还会有其他种类的舰艇来，说不定还会有新的发现，这让我很向往。

私たちが呉に住んで短い人でも 10年です。でも「アレイからすこじま」については自衛隊の潜水艦が泊まっている港としか知りませんでした。ガイドさんの説明で沢山の歴史が分かり，とても楽しい勉強となりました。印象深いことが 2 つありました。1 つ目は歩道に沿って作られている，この公園の名前の由来です。昔，ここには「烏小島」という島がありました。約100年前，軍の施設を作るために埋め立てられて無くなりましたが，英語の細い道という意味の「アレイ」と合わさり公園の名前になりました。呉市は軍港の町になり，戦後は船や機械の部品など物作りで発展していきました。そのことにとても驚きました。2 つ目は泊っている自衛艦についてです。潜水艦以外に，戦うための護衛艦や，他の船に物や燃料を届ける補給艦，海の中を音波で調べる音響測定艦など，ガイドさんは船の種類，役割を教えてくれました。自分の住む町の海に色々な自衛艦が泊まっていることを知り，これからも違う種類の船が来て，新しい発見があるかもと，楽しみになりました。

アレイからすこじま

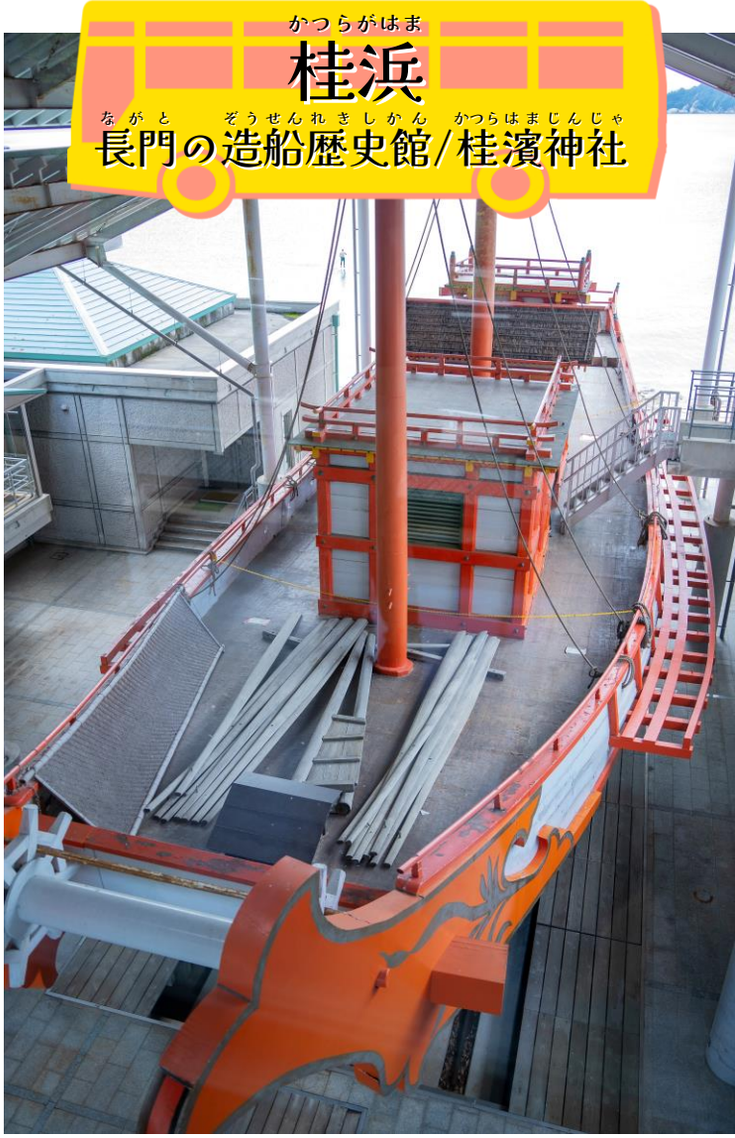
文章：李 航程さん・宋 雯さん

音户是我最喜欢的地方。第一音户大桥是 1961 年建成的。红色的桥体非常醒目，横跨在「音户之濑户」海峡上的巨大桥梁，是吴的象征。传说 900 年前一位名叫平清盛的人，仅用一天时间，开辟出来这条海峡，让船只，能够通行。在过桥之前的道路两边，种植着很多的杜鹃花。4 月中旬到 5 月上旬是赏花的时节，能够欣赏到漂亮的风景。稍微往山上走走，可以看到音户的濑户公园。春天来到时，会有很多观光客人在这里赏花。大约有 2300 棵樱花绽放，你能欣赏到，与深红色的「音户大桥」交相辉映的美景。音户是一个美丽的小镇。有机会，一定请您来看看。

音戸は大好きな町です。第一音戸大橋は1961年に作られました。赤い色でとても目立つ，『音戸の瀬戸』という海峡を跨ぐ大きな橋で，呉のランドマーク的な存在です。900年前に平清盛という人が，1日だけでこの場所を切り開いて，船が通ることができるようにしたという伝説があります。大橋を渡る前の道路の脇にはツツジがたくさん植えてあります。4月中旬から5月上旬に花が見頃になり，可憐な風景が楽しめます。もう少し山を登れば，音戸の瀬戸公園があります。春になったら，たくさんの観光客はここでお花見をします。約2300本のサクラが咲き，赤い音戸大橋とあわさった素晴らしい風景が楽しめます。音戸はとても綺麗な町です。機会があれば，是非行ってみてください。

文章：王 丹さん・韓 俊梅さん・姜 红姹さん

对于我们来说，这还是第一次的历史学习之旅。给我们留下很深印象的有两处。第一个是「音户清盛节」。音户清盛祭最初是纪念平清盛，以祈祷、舞蹈为起源，之后转变为节日。「音户观光文化会馆 涡潮」展示了节日的壮观场面，既新鲜又令人惊叹。公主和侍从等，身穿古代日本人的服装，仿佛时光倒流，穿越到古代。2023 年这一节日活动将恢复举行，很让人期待。第二个是「长门造船历史馆」。在这里能了解遣唐使的历史。我们来自于中国，这段历史我们在中国学过，这回可以从日本这边了解不同的观点，再一次感受到历史的沉积。愿中日友好关系能持续。

私たちにとって初めての歴史を学ぶ旅。とても印象に残ったことが２つあります。１つ目は「音戸清盛祭り」です。音戸清盛祭りは，１日で音戸の瀬戸を切り開いたと伝えられる平清盛のことを思って祈り，踊っていたことが元となり，その後形を変えてお祭りとして今も続いています。「音戸観光文化会館 うずしお」に展示されている，祭りの様子を見て，新鮮でとても驚きました。お姫様や侍など，昔の日本の人の服装をして行われる行列は，タイムスリップしたような気分になります。2023年にその祭りが開催されると聞き，うれしくて楽しみにしています。２つ目は「長門の造船歴史館」です。その中で遣唐使の歴史を見ました。私たちは中国の出身なので，この歴史については中国で学んだことがあり，今回は日本側から違う視点で見ることができて，改めて歴史の重みを感じました。中日の友好関係がずっと続くことを願いたい，そんな気持ちになりました。

桂浜
長門の造船歴史館/桂濱神社